

# 令和元年度 鑑石園在宅介護支援センター 事業報告書

## 1. 事業運営の状況

居宅支援件数は、昨年3月比で介護給付が75件→83件、予防給付が25件→39件、計100件→122件(昨比122%)となり、全体件数としては22件増加した。

職員については、4月より園内の異動で介護支援専門員1人が配属され4人体制となり、令和元年度は4人体制で支援を行った。

特定事業所加算については、職員1人の補充に伴い、4月より特定事業所加算Ⅱの算定を行った。

## 2. 事業計画実施状況

(1) 介護支援専門員倫理綱領、法令遵守に基づき、信頼される事業所を目指す

① 介護支援専門員倫理綱領（日本介護支援専門員協会）について

事業所内に介護支援専門員倫理綱領を掲示し勉強会を実施した。

② 法令遵守について

事業所内にて介護保険法の改正点や関係諸法令・通知等の確認を実施しまた、介護保険最新情報の確認も随時行い、法令遵守に努めた。

③ 信頼される事業所を目指す

サービス提供事業所に対する苦情2件については、迅速場対応を求めた。

(2) 支援件数増、職員の定着により安定した事業運営を目指す

① 支援件数増について

昨年100件に対し、本年度は122件で大幅に件数を増やすことはできたが目標とする140件以上を達成することはできなかった。

② 特定事業所加算について

4人体制を維持することができ、特定事業所加算Ⅱの算定を行った。

(3) 地域住民、地域包括支援センター、各事業所、関係諸機関等との連携強化、地域包括ケアシステムの構築に努める。

① 地域行事への参加

地域支援窓口と協働して、6/23原田公園祭り、10/27原田地区文化祭へ参加し、顔の見える関係作りに努めた。

② 地域への啓発活動

地域支援窓口と協働して11/9出前講座「認知症サポーター養成講座」を開催し地域への啓発活動に努めた。

③ 地域課題への取り組み

吉原中部地域包括支援センターが主催する連携会議、地域ケア会議に2度参加し、民生委員や包括職員、医療関係者、関係諸機関との意見交換を行うことができた。

8月・・吉永民生委員児童委員とケアマネジャーの連携会議

2月・・第2回多職種連携会議

『知ることからはじまる多職種連携【薬剤師編】』

④ 医療と介護の連携

利用者の受診同行や主治医へのケアプランの提出等を通して連携に努めた。

⑤ 防災対策

施設内にて防災委員と連携して鑑石園全体での緊急対応の確認を行ったが、地域防災訓練への参加、防災マップの見直しは、実施できなかった。

⑥ 介護予防、事業対象者のケアマネジメントの受託

積極的に予防・事業対象者の委託を受け、地域包括支援センターとの情報共有や連携を図り、必要に応じ助言を受けながら支援を行った。

⑦ 各施設・事業所の特性の把握と連携の強化

事業所に個別サービス計画の提出依頼を行い、居宅サービス計画との連動性を確認し、できる限り事業所に足を運ぶことにより顔の見える関係作りに努めた。

### 3 基本業務の再確認によりケアマネジメント能力と職員の資質向上

#### ① 研修について

個々に合わせた研修計画を立て、静岡県介護支援専門員協会、富士市介護保険事業者連絡協議会等の研修に各自、積極的に参加し、事業所内にておいて研修報告を実施し、フィードバックを行った。

#### ② 定例ミーティングの継続

週 1 回ミーティングを開催し、事業所内にて情報を共有し、担当者不在時にも迅速な対応ができるように努めた。

#### ③ 勉強会の開催

介護支援専門員倫理綱領や事例検討会等テーマを変えながら、月 1 回勉強会を開催し職員の資質向上に努め、事業所内居宅介護支援マニュアルの見直しも随時行い、業務の標準化に努めた。

#### ④ リスクマネジメントの向上

- ・ ヒヤリハットの活用により約束忘れ、連絡ミス等の防止に努めた。
- ・ 職員間で相談し合える、注意し合える環境作りに努め、困難事例に対しても事業所全体で支援できる体制を整え、担当職員の精神的負担の軽減に努めた。